

道の駅では、自分の持ち味やこれまで培ってきたものを活かしながら、地元で採れた旬の食材をふんだんに使った料理を提供しています。また、地元の農家さんと密接な関係を築き、時にはアドバイスをいただきながら、メニューや実際の料理に反映しています。

通常のレストランは「食べて終わり」ですが、道の駅のレストランは「食べて、おいしかったから買って帰ろう」というお客さんの購入意欲にもつながるので、やりがいを感じます。ある時、テーブルの紙ナプキンに、お子さんが「おいしかった」とメッセージを残してくれました。ささいなことですが、それこそが私たちが目指しているものであり、本当にうれしかったです。

多くの人に支えていただいて、1周年を迎えることができました。今後は、“ついで”に立ち寄り場所ではなく、目的地として来てもらえるよう、憩いの場・やすらぎの空間を作っていきたいです。



道の駅国見あつかしの郷 料理主任
佐藤 雄紀さん 渡辺 拓馬さん



◀ 国見自慢の旬の味を堪能できるレストラン 桃花亭

かぶ、きゅうり、ズッキーニ、パクチー、そしてこれからの時期はかぼちゃやスイカなど、年間を通して四季折々の野菜約 50 種類を栽培し、出荷しています。

道の駅ができたことで、より身近に自分の野菜を出荷する機会が増えたことは、農家の私にとってありがたいです。

生産者の名前を見て買っていただくこともあり、お客さんから「八巻さんの野菜おいしかったよ」という声を聞くとうれしくなりますし、“さらに良いものを作らなければ”という励みにもなります。

現在、道の駅出荷組合の野菜部会では町内の生産者で『野菜研究会』を組織し、町産野菜のブランド化を目指しています。やはり、国見町にある道の駅ですから、他の出荷者に負けられないように、私たち地元の生産者も頑張らなければいけないと思っています。



道の駅出荷組合 野菜部長
八巻 忠一さん



◀ 新鮮な国産の野菜や果物が豊富にそろうくにみ市場

道の駅開業 1 周年を迎えて

【インタビュー】

丹精込めて育て上げた野菜や果物などを出荷する生産者、その生産者の思いを受け継いで腕をふるう若き料理人、子育て世代を支えるこども木育広場『つながる〜む』のスタッフ。道の駅国見あつかしの郷を支えているみなさんの“思い”を聞きました。

5月30日 オープンから 393 日目 祝 来場者 200 万人達成!



道の駅国見 あつかしの郷
祝 来場者 200 万人達成
平成 30 年 5 月 30 日

記念すべき 200 万人目となった佐藤さん家族 (中央)

道の駅国見あつかしの郷が 5 月 30 日、来場者 200 万人を達成し、記念セレモニーが行われました。

記念すべき 200 万人目は、家族 4 人で福島市から来場の佐藤千代子さん。太田久雄町長から記念品として道の駅商品券 2 万円分と道の駅ペア宿泊券、さくらんぼが手渡されると、佐藤さんは「こういう経験は初めてでびっくり。2 度目の来場ですが、品数が豊富で新鮮な果物や野菜がたくさんあり、見ていて楽しくなります。また来たいです」と喜びを語りました。

また、199 万 9,999 人目の古内正好さん・弘子さん夫妻 (国見町)、200 万 1 人目の菊地一見さん・順子さん夫妻 (宮城県角田市) にもそれぞれ記念品が贈られました。



こども木育広場『つながる〜む』を運営する
一般社団法人ココママプラス 代表

熊谷 知子さん



◀ 「木育セミナー」で制作したパズルで楽しく遊ぶ子どもたち

開業して 1 年、延べ約 3 万 6,000 人の方に利用していただきました。

町外の利用者も多く、『つながる〜む』の名前のおり、みなさんがつながることができる場になっていると思います。特に、外で話す機会が少なくなりがちな専業主婦の方などが集まり、お話ししながら情報交換やリフレッシュしたりと、子どものみならず「子育て世代」のみなさんにとってもコミュニケーションの場になっています。また、お孫さんと来場されるおじいちゃんやおばあちゃんも多く、木のおもちゃや木質の空間に「癒される」「安心できる」と好評です。

『つながる〜む』では、定期的にサークル活動を行っており、親子で楽しめるさまざまなワークショップなどを開催しています。今後も、多世代交流をテーマに、さまざまなイベントを企画していくので、より多くの方に利用していただき、“つながり”を広げていきたいと思っています。